ストーリー

ある日、突然地球に現れた侵略者
「ワルインマー」

人を堕落させ動物や植物は嘆く。

数多の嘆きが地球の核に集まり…
地球を守るための聖なる防衛システム
「星の心」が生まれる。

守護戦士を生むため、星の心は思考する。
「問い、ヒトのもっとも強い情動は何か？」
「答え、それは暴走するほどのオスの性欲である。」

「問い、性欲を制御するには」
「答え、性欲を正義の力へ換える監視機構だ」

「問い、戦士はそのままの肉体で戦えるか」
「答え、否、保護と隠蔽と強化を要する。」

星の心はプログラムのように
それらをパッキングし、

監視機構として「守護妖精」を
戦士の強化として「魔法少女の加護」を具現化する。

そして純粋なキミに狙いを定め
「魔法少女ポントカワール ホワイト」とした。

これは…正義の魔法少女が
悪に堕ちる物語。


堕ち魔法少女
ポムカワ
POM TO KAWA-RU
キミが始まりの魔法少女になって
快楽と悪に屈して洗脳される
まんが ホワイト編


堕ち魔法少女
ポムカワ
POM TO KAWA-RU
キミが始まりの魔法少女になって
快楽と悪に屈して洗脳される
まんが ホワイト編


パァ
アアッ
浄化せよ
ワルインマー！
ホワイトポイント
ライトニング！
イッ！
ギャ～ッ
さすが
ホワイト！
今日も無事に
倒せたライね！
うん。アライの
指示もばっちり
だった！


でもさ、やっぱ変身ならヒーローの方がよかったなぁ
強い感情が大事なの！だから魔法少女なのライ！
ポニ。
まあ加護の力で正体はバレないからいいけど…
魔法少女なら女子を選んで欲しかったよ…
ダメ！星の心が言ってたライ！
「男の子が魔法少女になった方が強くなる」って！
その理由はわかんないけど！だからキミは胸を張って戦うライ！
ま、そう言われると悪い気はしないけど！
蹂躙と征服こそが我が娯楽だというのに…！魔法少女め…。
連中の力の源である「星の心」とやらをなんとかせん事には…


――そうか心か。
順序が逆だったのだ。
奴らの力の源
星の心とやらを
先に支配するのだ。
「心」などと
言ってはいるが
おそらくそれは
人でいう所の
免疫システムの
ようなもの。
であれば
ウイルスのように
システム自体を
乗っ取ればよい。
ギョロ
パチン
ターゲット
「星の心」
データ収集
解析開始
改変
必要時間
地球時間
一ヶ月…
さぁて
完了まで
永続オナニーと
洒落込もうか。
ズプ♡


こんな所にワルインマーが…全部倒したと思ってたのに！
いこうアライ！
ジジジ
変身――
ってお前が変身してどーすんだよ？
ぉん…
バージョンアップ ポコ…さあ変身するライ…ポコ
ポムッ
プル
なっ!?
きゃん


なっ…なんだよこの格好ッ！いつもの変身じゃない…？
おい、アライ！なんか間違ってんじゃないのか！こんなのじゃ…！
ムニュ♡
プルン♡
ムニュ♡
いいや、何も間違っていない。それがキミの新しい姿よ。
お前は…！


私はワルインマー総統ヌルテーカ。
キミがあまりに粘るのでね。
星の心を先に支配下におかせてもらったよ。
コイツもあと少しで完全に洗脳が完了する。
ニゲテ…
そしてキミも…フフフ
くっ何を…！
あっ!!
ウ!?
凌辱だよ。
ぷにぷに♥
ウニュウニュ♥


あっんっ!?
オクッ
ムクムクムク
さあまずは一度もオナニーをしていない…
いや、できなかった可愛そうなチンポに射精でさよならだ。
おな…に?
オスの性行為のこと♥
あ
ヒトの中で最も強い感情はオスの生殖本能…性欲だ。
だから星の心は男のキミを魔法少女にした。
性欲を正義に変換する枷を妖精という形で添えてね。
ねとぉ


可愛そうに。
ニチャア
んっぁづっ…
だが枷は外れた…♥楽しみなさい？
くっ♥
ぐちゅるる…
ぷっ
ぷっ


せっかく美少女になれたのに…
妄想もオナニーもできなくて辛かったでしょう？
はっ
そんなっ…ことっ！ボクは…
はっ
でも今は考えてる。いいのよ？それが普通♥
ちがっ…♡
んぅ♡
今までキミはあるべき感情を封じられただけ♥
ぴくっ
ほら自撮りオナニーとかやってみたいと思うでしょ？
びくぅ
そんな事お
力で組み伏せられて犯されてみたいって思うでしょお？
キュ♡
ダメだ…想像…とまらなっ何かが…込み上げて…
おしり…キュってなって…頭が白く…おちんちんが熱く――


あぁぁ何か出るぅ♡
ドュルルル!
ごちそうさま♥
これで…
おちんぽ消滅♥
ぼくは…
正義の…
あら？枷はもうないのに…
堕ちきってないわ。


キミ、元々なかなかの正義感があったのね。
…楽し♥考えが変わっちゃった♥
メキ♡
キミは徹底的に私好みに作り変えて玩具にしてあげる。
グイ。
や、やめて何を……
メリ…


ハイパーウケ
何を？
二穴同時♥
あ゛ぐ


ドサ…
ガクッ
お……
あーあ
挿れただけで
気絶しちゃった…♥
さすがに
アタシのものを
受け入れるには
準備が
足りなかったかあ
ピクピク
ブロン
…ま、いいか
じっくりと堕とす
楽しみが出来たって
ことで…ね。


自切
ウゾ
ウゾ
キミの体を
作り変えて
あげる…♥
ビキッ
ビキキ
どんなに
犯しても壊れない
最高の肉体に…ね
目覚めたキミの
錯乱が
楽しみだよ♥
ドクン…


そして、
心から私に
跪く日がね♥
あれ…？
ワルインマー…は？
ネバ…
僕は…
確か…
なに…
これ!?
ビィィ


なっ…
なにこれっ…
ヘンな気持ちにっ
ずっと
「おなにー」…
してるみたいな
快感がっ…！
ぐっ…
ノあっ…
取らなきゃ…
こんなの
ついてたら
ヘンになる！
グイッ
モゾ
モゾ
あああああ!!
ぐっ!!?
ブシャ!!



そして、その日から
キミの日常は性欲に支配された
ものに変わる……♥




あ♡
ん♡
今日…もうっ14回目…なのに
どんどん我慢できる間隔が短くなってる…
はっ♥
はっ♥
このままじゃボク――
ズチュ
ズチュ
ドキッ
加護も…弱くなって来てる！
なあ、なんかエロい声きこえねえ？
聞こえないぞ？それより何かスケベな匂いしねぇ？


ダメ…
イクの止めないと…
とめないとッ！
とまらないっ
ぐちゅん♡
ぐんっ♡
ビクんっ
アクメして…
気を失ってたから
助かった…♥
でも…
もう無理…
こんな体じゃ…
明日はきっと――
はーはー
ガッ


やあ
久しぶり
ホワイトノワール。
ぼくはポコ太。
生まれ変わった
「アライ」ポコ。
キミを迎えに
きたポコ！
もう我慢も
限界だろう？
さあ
ヌルテーカ様の
元で心身ともに
快楽の下僕に
してもらおう！
あ…
あぁ♡
ダメ…ボクは…
わたしは…
正義の――――
ジワ…


お願いしますボクを…私を…快楽に沈めて下さい。
フフ、やっと加護も尽きた？
屈しちゃった…♥
ゲン。
じゃあ…仕上げをしに行こうか♥


ドキ♥
ドキ♥
これからお前は
人々を欺くための
ニセの希望へと
生まれかわるの。
人々はお前を頼り
崇め、祈りを
捧げ…真綿のように
苦しみ滅んでいく。
お前が我らの
手駒に堕ちた
とも知らず…ね


ククク、
長く侵略と滅亡を
楽しめそうな
シナリオだろう。


そのためには
お前を
聖女のような
美しく完璧な心身へ
変えていかねばな。
ん!?
ガポ


グポッ
ぐーっ!?
ん～♡
対象の強制成長を開始…乳首の感度を上昇…
ぷくぅ♡
ぐっ♡
ぐぐぐ…
ぐぇ♡
ぐぐ…
あはははは
大人の肉体は
気が狂う程
気持ちいいでしょう
これからキミは
ずぅっと
その快感に弄ばれて
生きるのよ！


成長痛のきしみの裏で
肉体が成熟していく事により
快感が倍増していく♥
キミの神経回路は
ぱちぱちとはじけ、
言葉を紡ぐことも
難しくなっていく♥
フー♥
フー♥
狂いそうっ
狂いそうっ
狂いそうっ
なのにぃい！
ズチュチュ
イケない…か。
フム、
加護の残滓が
お前の正義感に
食い込み、最期の
悪あがきしてるな。
ズズ…


ならば…その人格もろとも修正してやる。
ビク
対象の人格を排出するプロセスを開始します。
あひっ ああああ
グジュル
なぁに怖がる事はないぞ。


ただ、気持ちがいいだけだ。
ふふっ
完全にイケ
ないというのは
切ないなぁ？
ほぉら無限の
寸止め快楽で
ドロドロに
なってしまえ！
パン
パン
ひっああ
やめっ…あぐっ
ああっいやああ
イカせてっ
んんあああッ♥
ん
♥
ちゅー
らめえ…
もう…意識が…
とけるぅうう！


股間が熱いっ…
触手の中でクリトリスがパンパンになって何かがっ♥
あだまのなひゃっトケて出ちゃうぅ♡
ビクビク!!
お♡
ゴプ♡
対象の意識低下
人格排出準備
完了。


ま○○に
なりゅっ
うっっっ♥♥
オークルート！


元人格をベースに
新たな人格を
作成中…
淫猥、ビッチ
清楚系ヤリマンの
データを注入
マゾヒズムを倍化
倫理観をカット、
我欲を増幅
性欲を通常の
二十倍に
ワルインマーの方針に
絶対服従の心理的
枷をセット
ゲーーーッ
コスチューム改変
異形化した
クリトリスを
性交時以外は
格納。
完成――


ズル…
生まれ変わり
おめでとう。
ホワイトノワール。
ところでここに
お前の前の
人格データが
あるのだけど…？
トロォ
捨てないで
ヌルテーカ様♥
私、すごぉく
良いこと
思いついい
ちゃった…♥
もっとながーく
楽しく侵略
する方法♥
ほぉう…？
くちゅ
くちゅ
あのね…


んー♡
んぐぐ♡
んぐぅぅぅ♥
ビク
ゴポッ!
ククの自分のクローンに元人格を入れ己を洗脳した装置を改造して妖精の苗床にするとは。
キュー


お前も堕ちる所まで堕ちたな♥
これでね、世界中に堕ちた魔法少女を増やして楽しむの。
魔法少女を堕とす楽しみも…人の絶望もながーく楽しめるよぉ。
自分を見ながらオナニーもできるし♥
ね、すごい？すごいって思ったらヌルテーカ様…
うむ。褒美だ♥
ズプ
おほおおおお♥♥
ビク
ビク


一ヶ月後、
淫獣と化した妖精により
新たな魔法少女が生まれ
洗脳触手「ポントテイル」により
悪へ堕ちる事になる。
そして始まりの
魔法少女は今日も
偽りの希望として――
あぶっ♥
トあぉ♡
悪に乱れ、踊る…
END♡

よいこのふろく



星の心

地球に住むあらゆる生命の嘆きが生んだ
侵略者に対抗するための「何か」

「星の心」という名からは感情をもった
生命がるように感じラれるが
その実は防衛プログラムに似たAIのようなもの。

それゆえ、ワルインマーによって
改変・支配下に置かれてしまった。

アライグマ型妖精　「アーライ」



星の心が魔法少女のお供に生み出した妖精。
ただ、彼もまたAIのような存在。
彼自身は知らないが魔法少女にした男の子の発情を抑制する
機能をもっている。

星の心がワルインマーに支配されてしまったため
アライグマに似たタヌキ型の陰獣へと変えられてしまった。

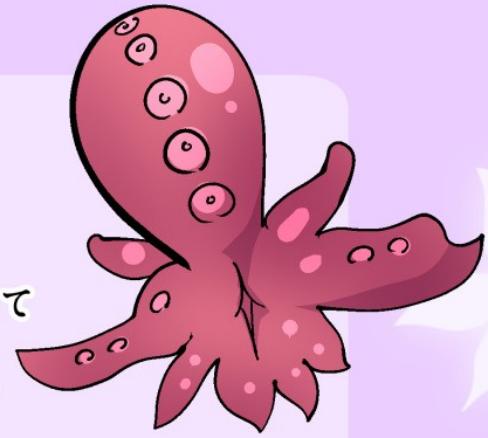


アライグマ



タヌキ

ワルイクリトパス



ヌルテーカの触手。
相手の内蔵に寄生し置き換わる。
性器やアナルを蛸の触手のようなもので覆って
特にクリトリスに激しく吸い付き
常に快感を与えて、寄生したものを狂わせる。

またヌルテーカ自身は
ワルインマーの科学技術と触手を連動させて
相手を洗脳、人格を排出させるなどの特殊能力を持っている。

なお、性器そのものではない。
これはカラーだと性器の修正がキツめで、画面がモザイクだらけに
なってしまうことに頭を抱えた絵描きの苦肉の作とも。
性器隠蔽の大人の玩具みたいなもの。


あとがき
お手にとってくれてありがとうございます。
ポントカワールシリーズ2作目になります。1作目がわりと好評だったのと、ホワイトさんがもっと堕ちる様をみたいというご意見があったので描いてみました！
一人で話を作りエロというジャンルだとマンネリになるといけないので今回はレビュー企画に参加してくれた方にご意見を頂きました。
もう少し魔法少女的にパフスリーブとかあると
人格排泄がみたい。
堕ちた後のアフターもできたら。
また、スマホネイティブ世代のマニャーミから
姉さんの漫画は文字がおおい・・・ストーリーとか頭にまとめたらどうかな
と、指摘をもらって、できる範囲で文字を減らしました。それでもまだ多いかも(汗)



また
英訳はCielさん
中国語は貓先生
フランス語はMaddieさんに
翻訳を頂きました

いつもいつも
本当にありがとう！



同人復帰後
今年で四年目となりました

今年もできる範囲で
頑張っていきますので
応援宜しくお願い致します。
また、「私の国のポントカワールを！」みたいな
意見や要望があれば、ぜひ応援レビューと共に
お寄せ下さいませ！
人気がでたら・・・また続編を考えてみますから！

制作 Yaseuma-Loru
絵：ネツキノヨト 定食

=感謝=

英訳 :Cielさん

中国語訳 :貓頭貓頭貓先生

仏語訳：Maddieさん

試読:bebuster さん

でんねこさん

まにゃみさん

and you

この作品を無断で
インターネット等に
アップロードする事を
禁じます。

